科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 3 年 6 月 8 日現在

機関番号: 3 2 6 1 2 研究種目: 若手研究(B) 研究期間: 2017~2020

課題番号: 17K13448

研究課題名(和文)名付けの音象徴: コーパス分析と実験による通言語的研究

研究課題名(英文)Sound symbolism in personal names: Experimental and corpus-based explorations

研究代表者

川原 繁人 (Kawahara, Shigeto)

慶應義塾大学・言語文化研究所(三田)・准教授

研究者番号:80718792

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 3,100,000円

研究成果の概要(和文):従来、音と意味の間には恣意的な関係しかないとされてきた。しかし、近年の言語学・心理学研究では音そのものに意味が備わっているという音象徴と呼ばれる現象が観察されることが分かってきた。本研究では、ポケモンの名前などの分析を通して、この音象徴現象をコーパスと実験を用いて検証した。対象とした言語は主に日本語であるが、共同研究を通して、英語やポルトガル語との比較対象も行った。これらの研究により、どのような音がどのような意味に結びつき、そこの結びつきには、どのような音声的な基盤があるのかを明らかにした。また、理論言語学の枠組みで音象徴を研究する新たな試みも行った。多くの論文が国際学術雑誌に掲載された。

研究成果の学術的意義や社会的意義 音と意味の間に体系的なつながりがあり、また、そのつながりが音声学的な基盤を持っていることを明らかにす ることで、従来の言語観の一つの根幹を成す「音と意味の恣意性」に対して、大きな風穴を開けることができ た。また、ポケモンなどの名付けを研究することで、この音象徴現象を実際のマーケティングの場で生かすため の基礎研究となることが期待される。さらに、ポケモンやプリキュアといった言語学に触れたことのない人にも 親しみやすい題材を分析することによって、言語学を専門としない人や学生に対しても、言語分析の意義を発信 することができた。この研究を通して、アメリカやブラジルの大学と共同研究を行い、学術的国際交流を深め た。

研究成果の概要(英文): Most linguistic theories in the twentieth century have assumed that the relationships between sounds and meanings are in principle arbitrary. Recent research in linguistics and psychology has shown that we observe patterns of sound symbolism, systematic associations between sounds and meanings. In this research, I have used experimentation and corpus-based research to explore the nature of sound symbolic patterns in natural languages. The primary target language was Japanese, but through collaborative research, I have also conducted research on other languages, including English and Brazilian Portuguese. The overall research has revealed intriguing patterns of systematic sound-meaning associations, as well as what their phonetic bases might be. I have also attempted to model sound symbolic patterns using a framework that is developed in the theoretical linguistics literature. I have published many research articles in international academic journals and gave talks at various venues.

研究分野: 言語学

キーワード: 言語学 音声学 音象徴 言語学教育 アウトリーチ活動

1.研究開始当初の背景

「音そのものに意味があるのか」という問題はプラトンやアリストテレスの時代から議論されているほど歴史のある問題である。もちろん、Saussure (1917)や Hockett (1959)が明確化したように、言語は音と意味を恣意的に結びつけることができるシステムであることは間違いない。しかし、一方で Sapir (1929)で報告されている実験的な検証を皮切りに「ある特定の音が、特定のイメージに結びつくことがある」という研究も盛んになってきた。例えば、[mal]と[mil]という単語を聞くと、多くの人が[mal]の方が大きいと判断する。この「[a] = 大きい、[i] = 小さい」というような結びつきを音象徴と呼ぶ。近年の言語学・心理学・認知科学の研究では、様々な言語で音象徴が存在することがわかってきており、どのような音がどのようなイメージを喚起するのか、その音声学的・音韻論的な基盤は何なのか、言語習得への関わりはあるのかなど、音象徴に関する様々な議論が活発になってきていた(Dingemanse et al. 2015)。Nielsen & Dingemanse (2020)によると、過去10年で、音象徴に関わる論文の出版数は急速的に増加している。

「音そのものに意味があるのか」という問いは、言語の基本構造に関する根本的な問題に関わる。また、音象徴が言語習得に関わっている可能性も高く(Imai & Kita 2004)、ひいては人間言語の起源や進化にも大事な役割を担ったという仮説すら提唱されている(Perman & Lupyan 2017)。また、音象徴は「共感覚知覚(多感覚知覚)」という、人間の認知機能一般に見受けられる特徴の一形態としても考えられ(Spence 2001)、この意味で、音象徴の研究は、言語と一般認知機能の関係性にも光を当てることができる。これらの意味で音象徴を言語学の立場から分析することは非常に有意義なことであった。

2.研究の目的

当初、本研究では申請者の過去の音象徴の研究を発展させ、固有名詞における名付けの音象徴パターンを様々な言語で分析することにより、言語の本質に光をあてていくことを目的とした。音象徴は、心理学や認知科学の観点からは注目を浴びていたが、理論言語学(とくに生成文法の枠組み)ではあまり分析の対象とされていなかったという背景があった。しかし、申請者は音象徴の分析も、理論言語学の発展に貢献できるとの感触を持っていて、この感触を具体化・明確化することで、音象徴研究と理論言語学の橋渡しを行うことも大きな目標の一つであった。また言語学は、専門家以外にはとっつきにくいところもあり、言語学を専門としない一般の人や学生にも興味を持ってもらうきっかけを考える必要性も感じていた。この問題意識に対して、プリキュアやポケモンの名前などを研究対象とすることで、身近な題材を通して、言語学をより広い人たちに知ってもらうことも目標とした。

これらの一般的な問題意識を背景とし、本研究では「特定の製品の名前には、その製品のイメージに合った音が使用されやすい」という仮説のもと、固有名詞の音象徴を通言語的に研究した。また、申請者の専門とする音声学の立場から、人間が音声を発する際の調音的・音響的な特徴が音象徴の基盤になっているという仮説を検証した。分析の対象として、プリキュアやポケモンの名前など身近なものを選び、言語学を専門としない人にも、言語研究の重要性や楽しさを広く発信することも大きな目的の一つとした。

またポケモンの名前は様々な言語で作られているため音象徴の通言語学的分析が可能であり、国際共同研究を通じて、様々な言語間の比較対象を行った。また、音象徴という現象は、生成文法では、あまり分析の対象にされてこなかったが(Alderete & Kochetov 2017)、音象徴の性質を吟味すると、伝統的に音韻現象として分析されてきたものと同じ特徴をもっていることが判明してきた(専門的に言えば、stochasticityと cumulativityの2点)。よって、本研究では、生成音韻論で近年活発に議論されている最大エントロピー調和文法(Maximum Entropy Harmonic Grammar)を用いて、音から意味への写像をモデリングすることを試みた。また、より広い観点から、音象徴の分析が理論音韻論の分析に貢献できることを明示し、音象徴の研究者と理論音韻論者の橋渡しを行うことを目的とした。

3.研究の方法

研究の核の一つとなったのはポケモンの名前における音象徴の分析である。日本語の実在のポケモンの分析を皮切りに、無意味語を使った実験を日本語話者、英語話者、ポルトガル語話者な

どを対象に行った。これらの分析から、ポケモンにおける「進化レベル」や「タイプ」、さらには「なつき度」などまでも音象徴的に表されることが分かってきた。ポケモンで観察される音象徴パターンと、実在の言語で観察される音象徴パターンを比較することで「生存に必要となる性質こそが音象徴によって表される」という一般的な仮説を提唱するに至った。実在語のポケモンの分析は、日本語だけでなく、英語・韓国語・中国語・ロシア語・フランス語・ドイツ語などを対象に行われた(前者4つは、申請者を含めた国際共同研究チームによるもの、後者2つは他の研究チームによるもの)。また、ランダムフォレストなど機械学習の方法を取り入れた分析も進行中である。ポケモンの分析だけでなく、おむつの名前やプリキュアの名前など、さまざまな分野の名前を分析した。すべての分野の分析において、実在語の分析と無意味語を使った実験の分析をバランス良く行った。

4.研究成果

今回の研究によって、以下の音象徴的なつながりが明らかになった。

「濁音」=力強さ、大きさ、重さ、悪役 (英語・日本語・ポルトガル語・ロシア語)

「語の長さ」=大きさ (英語・日本語・ポルトガル語、その他多くの言語)

「開口母音」=大きさ(英語・日本語・ポルトガル語・ロシア語)

「閉口母音」=小ささ(英語・日本語・ポルトガル語・ロシア語)

「両唇音」=かわいらしさ、おむつ(英語・日本語)

「舌先摩擦音」=飛行(英語・日本語)

音象徴の具体的な分析を多くの国際学術雑誌に出版することができた。最も大事な成果としては、最大エントロピー調和文法を用いた音象徴分析を提唱した論文の一つは Phonology に出版され、また、その追試実験が Language に出版されることが決まっている。

ポケモンの実在語の分析は、Phoneticaに掲載され、多くの研究者がこの論文を発展される形で他の言語へ対象を広げた。日本人を対象とした実験は、言語研究や Journal of Japanese Linguistics (2本)、英語話者を対象とした実験は、Linguistics と Laboratory Phonology に、ポルトガル語を対象にした実験は Journal of Psycholinguistic Research に掲載された。これらの分析は、ポケモンの進化レベルに関するものであったが、後の研究でポケモンタイプにも音象徴が関わっていることが明らかになり、それらの分析は音声研究、Review of Cognitive Linguistics、Open Linguistics、Journal of Portuguese Linguisticsに掲載された。

ポケモンを利用して、音象徴の研究ではよく知られている「ブーバ・キキ効果」を検証した論文は音韻研究に掲載された。また、ブーバ・キキ効果や他の音象徴現象を 25 以上の言語で一斉に比較する国際共同プロジェクトにも参加し、その成果の一つは Nature 系列の Scientific Reports に掲載された。

音象徴と理論音韻論者の橋渡しを目指した概説論文はLanguage and Linguistic Compassから出版された。この論文の出版に伴い、学生が音象徴を通じて、さまざまな音声学的・言語学的な概念に親しむことができるようなTeaching Guideも別個掲載された。音象徴を言語学教育に生かすことに関する論文は、Southern Review、 Proceedings of ISAPh などにも掲載された。

総じて、多くの研究論文を国内・国外の学術雑誌に出版することができたと言えるであろう。その他、査読中の論文も数点あり、今後とも出版成果が期待される。また、これらの論文の多くが、 学生や若手研究者との共著である点も明記しておきたい。

また、ポケモンを使った音象徴分析は世界的に認知され、2018 年にはこれをテーマとした国際学会を慶應義塾大学にて開催した。また、海外の講演会に呼ばれることも多く、ドイツのLeibniz-Centre General Linguistics (ZAS) やフランスの Centre national de la recherche scientifique (CNRS)、アメリカの様々な大学 (University of North Calorina, Chapel Hill など)でも特別招待講演を行った。イギリスのUniversity of College London での講演も予定されている。ポケモンの音象徴分析は、世界各国の研究者から認知され始めていると考えてよいであるう。これらの招待講演に加えて、個別の分析は、日本認知言語学会、日本音韻論学会や Annual Meeting of Phonology などの国内外の学会でも積極的に発表した。

さらにポケモンやプリキュアを題材とした言語分析は、言語学を知らない一般の人や学生たちの興味を引くのに有用であり、日本音声学会などで一般向けの講演会を行った。また、一般向けの解説記事が雑誌『ケトル』や『三田評論』に掲載され、同じように、細馬宏通氏との一般向け対談が『早稲田文学』に掲載された。音象徴を題材とした音声学入門の本『「あ」は「い」より大きい!?』もひつじ書房より出版され、2021年の時点で3刷に至っている。また、この入門本を土台として、より広い範囲の音声学の基礎を学べる『ビジュアル音声学』も三省堂から出版

された。後者も、2021年時点で3刷に至っている。さらに、YouTubeに音象徴の分析の解説動画を一般公開することにより、言語学・音声学を広く学べるような教材を用意した。

最後に、これらの研究により、多くの海外の研究機関との共同研究が始まったことも特筆すべき 点である。イギリス・フランス・ブラジル・ドイツ・アメリカ・シンガポールなどの研究者たち と継続的に研究を行っている。

5 . 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計19件(うち査読付論文 14件/うち国際共著 6件/うちオープンアクセス 5件)

Sodoy, Mahayana C., Neomias Silva de Souza Filho, Juliana S. Narques de Souza, Halis Alves, Shigeto Kawahara 2. 抗文種類 Ottta name (m all: an experimental study on the sound symbolism of Pokeanon names in Brazilian Portuguese 3. 級話名 Journal of Psycholinguistic Research 周龍放文の20(デジタルオブシェクト機削子) 10.1007/s10936-019-09679-2 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが回難 1. 著名名 Kawahara, Shigeto 7. 2. 筋文標版 What's in a PreCure name? 3. 級話名 1. 近日名名		. 244
Shigeto Kawahara 2. 語文標題	1.著者名	4 . 巻
2 . 第文標題	Godoy, Mahayana C., Neemias Silva de Souza Filho, Juliana G. Marques de Souza, Halis Alves,	-
Soft an american all: an experimental study on the sound symbolism of Pokenon names in Brazillian Portuguese	Shigeto Kawahara	
Soft an american all: an experimental study on the sound symbolism of Pokenon names in Brazillian Portuguese	2 論文標題	5. 発行年
Portuguese 3 deviral of Psycholinguistic Research 5 機能論文の001 (デジタルオブジェクト選例子) 10 1007/st0395-019-08679-2 7 - ブンアクセス 7 - ブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが函数 1 著名名 Kambara、Shigeto 2		
3. 熱試名 Journal of Psycholinguistic Research Journal of Psycholinguistic Research 相動論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 1. 業者名 Kawahara, Shigeto 3. 総誌名 Journal of Phonetic Society of Japan 1. 業者名 Kawahara, Shigeto 3. 総誌名 Journal of Phonetic Society of Japan 1. 業者名 Kawahara, Shigeto 3. 総誌名 Journal of Phonetic Society of Japan 1. 業者名 Kawahara, Shigeto 3. 総誌名 Journal of Phonetic Society of Japan 1. 業者名 Kawahara, Shigeto 3. 総誌名 Journal of Phonetic Society of Japan 4. 巻 - プンアクセス 4. 巻 - プンアクセス 1. 業者名 Kawahara, Shigeto 3. 総誌名 Journal of Phonetic Society of Japan 4. 巻 - プンアクセス 3. 総誌名 Journal of Phonetic Society of Japan 4. 巻 - プンアクセス 1. 業者名 Kawahara, Shigeto 3. 総誌名 Journal of Phonetic Society of Japan 4. 巻 - プンアクセス 1. 業者名 Kawahara, Shigeto 3. 総誌名 Journal of Phonetic Society of Japan 4. 巻 - プンアクセス 1. 業者名 Kawahara, Shigeto 3. 総誌名 Journal of Phonetic Society of Japan 4. 巻 - プンアクセス 1. 業者名 Kawahara, Shigeto 3. 総誌名 Journal of Phonetic Strough sound symbolism 4. 巻 - プンアクセス 1. 美力プンアクセス 1. 重応の有無 加速の表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を		20194
Journal of Psycholinguistic Research		
指数論文の001(デジタルオブジェクト語別子) 10.1007/s10936-019-09679-2 カープンアクセス オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 4. 巻 Kasahara, Shigeto 2. 論文標題 What's in a PreCure name? 3. 検討名 ICU Working Papers in Linguistics 第二 プンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 5. 発行年 2019年 カープンアクセス 国際共著 エープンアクセス 国際共著 ・ 1. 著名名 Kasahara, Shigeto and Gakuji Kumagai 2. 論文標題 Inferring Pokenon types using sound symbolism: The effects of voicing and labiality 3. 検討名 Journal of Phonetic Society of Japan 和 プンアクセス 国際共著 ・ 1. 著名名 Kasahara, Shigeto カープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 6. 最初と最後の頁 111-116 月教諭公の001(デジタルオブジェクト語別子) なし オープンアクセス 国際共著 ・ 1. 著名名 Kasahara, Shigeto カープンアクセス 国際共著 ・ 1. 著名名 Kasahara, Shigeto カープンアクセス 国際共著 ・ 1. 著名名 Kasahara, Shigeto カープンアクセス 国際共著 ・ 1. 著名名 Kasahara, Shigeto 2. 論文標題 Teaching phonetics through sound symbolism 3. 検討名 Proceedings of ISAPh. 月報論公の001(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス 国際共著	3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
指数論文の001(デジタルオブジェクト語別子) 10.1007/s10936-019-09679-2 カープンアクセス オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 4. 巻 Kasahara, Shigeto 2. 論文標題 What's in a PreCure name? 3. 検討名 ICU Working Papers in Linguistics 第二 プンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 5. 発行年 2019年 カープンアクセス 国際共著 エープンアクセス 国際共著 ・ 1. 著名名 Kasahara, Shigeto and Gakuji Kumagai 2. 論文標題 Inferring Pokenon types using sound symbolism: The effects of voicing and labiality 3. 検討名 Journal of Phonetic Society of Japan 和 プンアクセス 国際共著 ・ 1. 著名名 Kasahara, Shigeto カープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 6. 最初と最後の頁 111-116 月教諭公の001(デジタルオブジェクト語別子) なし オープンアクセス 国際共著 ・ 1. 著名名 Kasahara, Shigeto カープンアクセス 国際共著 ・ 1. 著名名 Kasahara, Shigeto カープンアクセス 国際共著 ・ 1. 著名名 Kasahara, Shigeto カープンアクセス 国際共著 ・ 1. 著名名 Kasahara, Shigeto 2. 論文標題 Teaching phonetics through sound symbolism 3. 検討名 Proceedings of ISAPh. 月報論公の001(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス 国際共著	Journal of Psycholinguistic Research	_
1.1007/s10836-019-09679-2 有	Courties of Foyoto Inguistro Rossaron	
1.1007/s10836-019-09679-2 有		
1.1007/s10836-019-09679-2 有	##\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	*+
1 著名名		
1 著名名	10.1007/s10936-019-09679-2	有
1 著名名		
1 著名名	オープンアクセス	国際共著
1 . 著者名		
Kawahara, Shigeto 7 2 . 論文標題 1	カープンティ ころ こはない、 人はカープンティ ころが 四衆	以ヨチラ
Kawahara, Shigeto 7 2 . 論文標題 1		
2 . 論文標題 What's in a PreCure name? 3 . 雑誌名 ICU Working Papers in Linguistics 6 . 最初と最後の頁 15・22 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 1 . 著名名 Kawahara, Shigeto and Gakuji Kumagai 2 . 論文標題 Inferring Pokemon types using sound symbolism: The effects of voicing and labiality 3 . 雑誌名 Journal of Phonetic Society of Japan 指載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 1 . 著名名 Kawahara, Shigeto 3 . 雑誌名 Aーブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 1 . 著名名 Kawahara, Shigeto 3 . 雑誌名 Froceeding phonetics through sound symbolism 3 . 雑誌名 Proceedings of ISAPh. 5 . 発行年 2019年 4 . 巻 - ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	1.著者名	4 . 巻
2 . 論文標題 What's in a PreCure name? 3 . 雑誌名 ICU Working Papers in Linguistics 6 . 最初と最後の頁 15・22 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 1 . 著名名 Kawahara, Shigeto and Gakuji Kumagai 2 . 論文標題 Inferring Pokemon types using sound symbolism: The effects of voicing and labiality 3 . 雑誌名 Journal of Phonetic Society of Japan 指載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 1 . 著名名 Kawahara, Shigeto 3 . 雑誌名 Aーブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 1 . 著名名 Kawahara, Shigeto 3 . 雑誌名 Froceeding phonetics through sound symbolism 3 . 雑誌名 Proceedings of ISAPh. 5 . 発行年 2019年 4 . 巻 - ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	Kawahara, Shigeto	7
What's in a Precure name? 2019年 3 . 雑誌名 ICU Working Papers in Linguistics 6 . 最初と最後の頁 15・22 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト講別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著 1 . 著者名 Kawahara, Shigeto and Gakuji Kumagai 4 . 巻 23 2 . 論文標題 Inferring Pokemon types using sound symbolism: The effects of voicing and labiality 5 . 発行年 2019年 3 . 雑誌名 Journal of Phonetic Society of Japan 6 . 最初と最後の頁 111 - 116 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト講別子) なし 査読の有無 有 1 . 著者名 Kawahara, Shigeto 4 . 巻 2 . 論文標題 Feaching phonetics through sound symbol ism 5 . 発行年 2019年 3 . 雑誌名 Proceedings of ISAPh. 6 . 最初と最後の頁 6 . 最初と最後の頁 7 . 最初と最後の頁 8 無 オープンアクセス 国際共著		
What's in a Precure name? 2019年 3 . 雑誌名 ICU Working Papers in Linguistics 6 . 最初と最後の頁 15・22 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト講別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著 1 . 著者名 Kawahara, Shigeto and Gakuji Kumagai 4 . 巻 23 2 . 論文標題 Inferring Pokemon types using sound symbolism: The effects of voicing and labiality 5 . 発行年 2019年 3 . 雑誌名 Journal of Phonetic Society of Japan 6 . 最初と最後の頁 111 - 116 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト講別子) なし 査読の有無 有 1 . 著者名 Kawahara, Shigeto 4 . 巻 2 . 論文標題 Feaching phonetics through sound symbol ism 5 . 発行年 2019年 3 . 雑誌名 Proceedings of ISAPh. 6 . 最初と最後の頁 6 . 最初と最後の頁 7 . 最初と最後の頁 8 無 オープンアクセス 国際共著	2 50分钟明	c
3 . 雑誌名 ICU Working Papers in Linguistics 信う・22 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オーブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 1 . 著者名 Kawahara, Shigeto and Gakuji Kumagai 2 . 論文標題 Inferring Pokemon types using sound symbolism: The effects of voicing and labiality 3 . 雑誌名 Journal of Phonetic Society of Japan 指載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オーブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 1 . 著者名 Kawahara, Shigeto 4 . 巻 「 第載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 1 . 著者名 Kawahara, Shigeto 5 . 発行年 2019年 3 . 雑誌名 「 日際共著 「 日際共著 「 1 . 著者名 Kawahara, Shigeto 6 . 最初と最後の頁 「 日際共著 「 1 . 著者名 Kawahara, Shigeto 7 . 最初と最後の頁 「 日際共著		
IS - 22 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	What's in a PreCure name?	2019年
IS - 22 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし		
IS - 22 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	3.雑誌名	6.最初と最後の百
掲載論文の001(デジタルオブジェクト識別子) なし オーブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 1. 著者名 Kawahara, Shigeto and Gakuji Kumagai 2. 論文標題 Inferring Pokemon types using sound symbolism: The effects of voicing and labiality 3. 雑誌名 Journal of Phonetic Society of Japan 指載論文の001(デジタルオブジェクト識別子) なし オーブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 1. 著者名 Kawahara, Shigeto 2. 論文標題 Teaching phonetics through sound symbolism 3. 雑誌名 Proceedings of ISAPh. 超数論文の001(デジタルオブジェクト識別子) なし 3. 雑誌名 Proceedings of ISAPh. 超数論文の001(デジタルオブジェクト識別子) なし 基本の有無 なし 第一次表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表		
### オープンアクセス コープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 コープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 コープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 コープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 コープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 コープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 コープンアクセスではない。又はオープンアクセスが困難 コープンアクセスではない。又はオープンアクセスが困難 コープンアクセスではない。又はオープンアクセスが困難 コープンアクセスではない。又はオープンアクセスが困難 コープンアクセスではない。又はオープンアクセスが困難 コープンアクセスではない。又はオープンアクセスが困難 コープンアクセスではない。又はオープンアクセスが困難 コープンアクセスが困難 コープンアクセスではない。「大きない情報を表現している。」 第2	Too morking rapers in Emigristres	10 - 22
### オープンアクセス コープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 コープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 コープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 コープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 コープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 コープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 コープンアクセスではない。又はオープンアクセスが困難 コープンアクセスではない。又はオープンアクセスが困難 コープンアクセスではない。又はオープンアクセスが困難 コープンアクセスではない。又はオープンアクセスが困難 コープンアクセスではない。又はオープンアクセスが困難 コープンアクセスではない。又はオープンアクセスが困難 コープンアクセスではない。又はオープンアクセスが困難 コープンアクセスが困難 コープンアクセスではない。「大きない情報を表現している。」 第2		
### オープンアクセス コープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 コープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 コープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 コープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 コープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 コープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 コープンアクセスではない。又はオープンアクセスが困難 コープンアクセスではない。又はオープンアクセスが困難 コープンアクセスではない。又はオープンアクセスが困難 コープンアクセスではない。又はオープンアクセスが困難 コープンアクセスではない。又はオープンアクセスが困難 コープンアクセスではない。又はオープンアクセスが困難 コープンアクセスではない。又はオープンアクセスが困難 コープンアクセスが困難 コープンアクセスではない。「大きない情報を表現している。」 第2		
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 著者名 Kawahara, Shigeto and Gakuji Kumagai 23 2 .論文標題	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 著者名 Kawahara, Shigeto and Gakuji Kumagai 23 2 .論文標題	なし	無
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 著者名 Kawahara, Shigeto and Gakuji Kumagai 23 2 .論文標題 Inferring Pokemon types using sound symbolism: The effects of voicing and labiality 2019年 3 .雑誌名 Journal of Phonetic Society of Japan 6. 最初と最後の頁 1111 - 116 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 査読の有無 有 1 .著者名 Kawahara, Shigeto 7. 発行年 2019年 3 .雑誌名 9. 意文標題 7. 表現で表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表		***
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 著者名 Kawahara, Shigeto and Gakuji Kumagai 23 2 .論文標題 Inferring Pokemon types using sound symbolism: The effects of voicing and labiality 2019年 3 .雑誌名 Journal of Phonetic Society of Japan 6. 最初と最後の頁 1111 - 116 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 査読の有無 有 1 .著者名 Kawahara, Shigeto 7. 発行年 2019年 3 .雑誌名 9. 意文標題 7. 表現で表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表	オープンアクセフ	国際共革
1. 著者名 A . 巻 23 23 23 23 23 23 23		
23 2. 論文標題 Inferring Pokemon types using sound symbolism: The effects of voicing and labiality 3. 雑誌名 Journal of Phonetic Society of Japan 指戦論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 1. 著者名 Kawahara, Shigeto 2. 論文標題 Teaching phonetics through sound symbolism 3. 雑誌名 Proceedings of ISAPh. 23 5. 発行年 2019年 6. 最初と最後の頁 111 - 116 111 - 116 12 意読の有無 6 4. 巻 - 1. 著者名 Kawahara, Shigeto 5. 発行年 2019年 6. 最初と最後の頁 - 1. 表現行程 2019年 5. 発行年 2019年 3. 雑誌名 Proceedings of ISAPh. 2	オーノンアクセスではない、又はオーノンアクセスか困難	-
23 2. 論文標題 Inferring Pokemon types using sound symbolism: The effects of voicing and labiality 3. 雑誌名 Journal of Phonetic Society of Japan 指戦論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 1. 著者名 Kawahara, Shigeto 2. 論文標題 Teaching phonetics through sound symbolism 3. 雑誌名 Proceedings of ISAPh. 23 5. 発行年 2019年 6. 最初と最後の頁 111 - 116 111 - 116 12 意読の有無 6 4. 巻 - 1. 著者名 Kawahara, Shigeto 5. 発行年 2019年 6. 最初と最後の頁 - 1. 表現行程 2019年 5. 発行年 2019年 3. 雑誌名 Proceedings of ISAPh. 2		
23 2. 論文標題 Inferring Pokemon types using sound symbolism: The effects of voicing and labiality 3. 雑誌名 Journal of Phonetic Society of Japan 指戦論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 1. 著者名 Kawahara, Shigeto 2. 論文標題 Teaching phonetics through sound symbolism 3. 雑誌名 Proceedings of ISAPh. 23 5. 発行年 2019年 6. 最初と最後の頁 111 - 116 111 - 116 12 意読の有無 6 4. 巻 - 1. 著者名 Kawahara, Shigeto 5. 発行年 2019年 6. 最初と最後の頁 - 1. 表現行程 2019年 5. 発行年 2019年 3. 雑誌名 Proceedings of ISAPh. 2	1.著者名	4 . 巻
2.論文標題 Inferring Pokemon types using sound symbolism: The effects of voicing and labiality 3.雑誌名 Journal of Phonetic Society of Japan 「表読の有無 をしている。 「おりと最後の頁」 111 - 116 「本プンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 「「大きを表している。」 1. 著者名 「大きない者のではない。「大きない。」 2. 論文標題 「中国のではない。「大きない。」 2. 論文標題 「中国のではない。「大きない。」 2. 論文標題 「中国のではない。「大きない。」 2. 論文標題 「中国のではない。「大きない。」 2. 意味では、「大きない。」 2. 意味では、「		_
Inferring Pokemon types using sound symbolism: The effects of voicing and labiality 3 . 雑誌名 Journal of Phonetic Society of Japan 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Kawahara, Shigeto 2 . 論文標題 Teaching phonetics through sound symbolism 3 . 雑誌名 Proceedings of ISAPh. 指載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス 国際共著 も . 巻 - ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※	Namanara, ornyeto and bakuji Numayar	
Inferring Pokemon types using sound symbolism: The effects of voicing and labiality 3 . 雑誌名 Journal of Phonetic Society of Japan 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Kawahara, Shigeto 2 . 論文標題 Teaching phonetics through sound symbolism 3 . 雑誌名 Proceedings of ISAPh. 指載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス 国際共著 も . 巻 - ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※		1
3 . 雑誌名 Journal of Phonetic Society of Japan 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Kawahara, Shigeto 2 . 論文標題 Teaching phonetics through sound symbolism 3 . 雑誌名 Proceedings of ISAPh. 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス 国際共著 6 . 最初と最後の頁 - 一 最初と最後の頁 - 一 最初と最後の頁 - 一 日朝歌論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	o +0-1-1	5 7%/= /-
3 . 雑誌名 Journal of Phonetic Society of Japan 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Kawahara, Shigeto 2 . 論文標題 Teaching phonetics through sound symbolism 3 . 雑誌名 Proceedings of ISAPh. 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス 国際共著 6 . 最初と最後の頁 - 一 最初と最後の頁 - 一 最初と最後の頁 - 一 日朝歌論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス		
Journal of Phonetic Society of Japan 111 - 116 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)		
Journal of Phonetic Society of Japan 111 - 116 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)		
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	Inferring Pokemon types using sound symbolism: The effects of voicing and labiality	2019年
なし 有 オープンアクセス 国際共著 1 . 著者名	Inferring Pokemon types using sound symbolism: The effects of voicing and labiality 3 .雑誌名	2019年 6.最初と最後の頁
なし 有 オープンアクセス 国際共著 1 . 著者名	Inferring Pokemon types using sound symbolism: The effects of voicing and labiality 3 .雑誌名	2019年 6.最初と最後の頁
なし 有 オープンアクセス 国際共著 1 . 著者名	Inferring Pokemon types using sound symbolism: The effects of voicing and labiality 3 .雑誌名	2019年 6.最初と最後の頁
なし 有 オープンアクセス 国際共著 1 . 著者名	Inferring Pokemon types using sound symbolism: The effects of voicing and labiality 3 . 雑誌名 Journal of Phonetic Society of Japan	2019年 6.最初と最後の頁
オープンアクセス 国際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 Kawahara, Shigeto 4 . 巻 - 2 . 論文標題 Teaching phonetics through sound symbolism 5 . 発行年 2019年 3 . 雑誌名 Proceedings of ISAPh. 6 . 最初と最後の頁 - 増載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし 無 無 コープンアクセス 国際共著	Inferring Pokemon types using sound symbolism: The effects of voicing and labiality 3 . 雑誌名 Journal of Phonetic Society of Japan	2019年 6 . 最初と最後の頁 111 - 116
### A - プンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 Kawahara, Shigeto	Inferring Pokemon types using sound symbolism: The effects of voicing and labiality 3.雑誌名 Journal of Phonetic Society of Japan 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2019年 6.最初と最後の頁 111 - 116 査読の有無
### A - プンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 Kawahara, Shigeto	Inferring Pokemon types using sound symbolism: The effects of voicing and labiality 3.雑誌名 Journal of Phonetic Society of Japan 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2019年 6.最初と最後の頁 111 - 116 査読の有無
1 . 著者名 Kawahara, Shigeto 4 . 巻 - 2 . 論文標題 Teaching phonetics through sound symbolism 5 . 発行年 2019年 3 . 雑誌名 Proceedings of ISAPh. 6 . 最初と最後の頁 - 場載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	Inferring Pokemon types using sound symbolism: The effects of voicing and labiality 3 . 雑誌名 Journal of Phonetic Society of Japan 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	2019年 6.最初と最後の頁 111-116 査読の有無 有
1 . 著者名 Kawahara, Shigeto 4 . 巻 - 2 . 論文標題 Teaching phonetics through sound symbolism 5 . 発行年 2019年 3 . 雑誌名 Proceedings of ISAPh. 6 . 最初と最後の頁 - 場載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	Inferring Pokemon types using sound symbolism: The effects of voicing and labiality 3.雑誌名 Journal of Phonetic Society of Japan 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	2019年 6.最初と最後の頁 111-116 査読の有無 有
Kawahara, Shigeto-2.論文標題 Teaching phonetics through sound symbolism5.発行年 2019年3.雑誌名 Proceedings of ISAPh.6.最初と最後の頁 -掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス国際共著	Inferring Pokemon types using sound symbolism: The effects of voicing and labiality 3.雑誌名 Journal of Phonetic Society of Japan 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	2019年 6.最初と最後の頁 111-116 査読の有無 有
Kawahara, Shigeto-2.論文標題 Teaching phonetics through sound symbolism5.発行年 2019年3.雑誌名 Proceedings of ISAPh.6.最初と最後の頁 -掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス国際共著	Inferring Pokemon types using sound symbolism: The effects of voicing and labiality 3.雑誌名 Journal of Phonetic Society of Japan 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	2019年 6.最初と最後の頁 111-116 査読の有無 有
2.論文標題 Teaching phonetics through sound symbolism5.発行年 2019年3.雑誌名 Proceedings of ISAPh.6.最初と最後の頁 -掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス国際共著	Inferring Pokemon types using sound symbolism: The effects of voicing and labiality 3.雑誌名 Journal of Phonetic Society of Japan 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2019年 6.最初と最後の頁 111-116 査読の有無 有 国際共著
Teaching phonetics through sound symbolism 2019年 3.雑誌名 Proceedings of ISAPh. 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス 国際共著	Inferring Pokemon types using sound symbolism: The effects of voicing and labiality 3.雑誌名 Journal of Phonetic Society of Japan 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2019年 6.最初と最後の頁 111-116 査読の有無 有 国際共著
Teaching phonetics through sound symbolism 2019年 3.雑誌名 Proceedings of ISAPh. 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス 国際共著	Inferring Pokemon types using sound symbolism: The effects of voicing and labiality 3.雑誌名 Journal of Phonetic Society of Japan 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2019年 6.最初と最後の頁 111-116 査読の有無 有 国際共著
Teaching phonetics through sound symbolism 2019年 3.雑誌名 Proceedings of ISAPh. 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス 国際共著	Inferring Pokemon types using sound symbolism: The effects of voicing and labiality 3 . 雑誌名 Journal of Phonetic Society of Japan 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Kawahara, Shigeto	2019年 6.最初と最後の頁 111-116 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 -
3.雑誌名 6.最初と最後の頁 Proceedings of ISAPh. - 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 なし 無 オープンアクセス 国際共著	Inferring Pokemon types using sound symbolism: The effects of voicing and labiality 3 . 雑誌名 Journal of Phonetic Society of Japan 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Kawahara, Shigeto	2019年 6.最初と最後の頁 111-116 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 -
Proceedings of ISAPh. - 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 なし 無 オープンアクセス 国際共著	Inferring Pokemon types using sound symbolism: The effects of voicing and labiality 3.雑誌名 Journal of Phonetic Society of Japan 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Kawahara, Shigeto	2019年 6.最初と最後の頁 111-116 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 - 5.発行年
Proceedings of ISAPh. - 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 なし 無 オープンアクセス 国際共著	Inferring Pokemon types using sound symbolism: The effects of voicing and labiality 3.雑誌名 Journal of Phonetic Society of Japan 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Kawahara, Shigeto 2.論文標題	2019年 6.最初と最後の頁 111-116 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 - 5.発行年
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	Inferring Pokemon types using sound symbolism: The effects of voicing and labiality 3 . 雑誌名 Journal of Phonetic Society of Japan 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Kawahara, Shigeto 2 . 論文標題 Teaching phonetics through sound symbolism	2019年 6.最初と最後の頁 111-116 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 - 5.発行年 2019年
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	Inferring Pokemon types using sound symbolism: The effects of voicing and labiality 3.雑誌名 Journal of Phonetic Society of Japan 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Kawahara, Shigeto 2.論文標題 Teaching phonetics through sound symbolism 3.雑誌名	2019年 6.最初と最後の頁 111-116 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 - 5.発行年 2019年
なし 無 オープンアクセス 国際共著	Inferring Pokemon types using sound symbolism: The effects of voicing and labiality 3.雑誌名 Journal of Phonetic Society of Japan 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Kawahara, Shigeto 2.論文標題 Teaching phonetics through sound symbolism 3.雑誌名	2019年 6.最初と最後の頁 111-116 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 - 5.発行年 2019年
なし 無 オープンアクセス 国際共著	Inferring Pokemon types using sound symbolism: The effects of voicing and labiality 3.雑誌名 Journal of Phonetic Society of Japan 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Kawahara, Shigeto 2.論文標題 Teaching phonetics through sound symbolism 3.雑誌名	2019年 6.最初と最後の頁 111-116 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 - 5.発行年 2019年
なし 無 オープンアクセス 国際共著	Inferring Pokemon types using sound symbolism: The effects of voicing and labiality 3.雑誌名 Journal of Phonetic Society of Japan 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Kawahara, Shigeto 2.論文標題 Teaching phonetics through sound symbolism 3.雑誌名	2019年 6.最初と最後の頁 111-116 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 - 5.発行年 2019年
オープンアクセス 国際共著	Inferring Pokemon types using sound symbolism: The effects of voicing and labiality 3.雑誌名 Journal of Phonetic Society of Japan 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Kawahara, Shigeto 2.論文標題 Teaching phonetics through sound symbolism 3.雑誌名 Proceedings of ISAPh.	2019年 6.最初と最後の頁 111-116 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 - 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 -
	Inferring Pokemon types using sound symbolism: The effects of voicing and labiality 3.雑誌名 Journal of Phonetic Society of Japan 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Kawahara, Shigeto 2.論文標題 Teaching phonetics through sound symbolism 3.雑誌名 Proceedings of ISAPh. 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2019年 6.最初と最後の頁 111-116 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 - 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
	Inferring Pokemon types using sound symbolism: The effects of voicing and labiality 3.雑誌名 Journal of Phonetic Society of Japan 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Kawahara, Shigeto 2.論文標題 Teaching phonetics through sound symbolism 3.雑誌名 Proceedings of ISAPh. 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2019年 6.最初と最後の頁 111-116 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 - 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
	Inferring Pokemon types using sound symbolism: The effects of voicing and labiality 3 . 雑誌名 Journal of Phonetic Society of Japan 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Kawahara, Shigeto 2 . 論文標題 Teaching phonetics through sound symbolism 3 . 雑誌名 Proceedings of ISAPh. 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	2019年 6.最初と最後の頁 111-116 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 - 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 無
	Inferring Pokemon types using sound symbolism: The effects of voicing and labiality 3.雑誌名 Journal of Phonetic Society of Japan 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Kawahara, Shigeto 2.論文標題 Teaching phonetics through sound symbolism 3.雑誌名 Proceedings of ISAPh. 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2019年 6.最初と最後の頁 111-116 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 - 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 無
	Inferring Pokemon types using sound symbolism: The effects of voicing and labiality 3 . 雑誌名 Journal of Phonetic Society of Japan 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Kawahara, Shigeto 2 . 論文標題 Teaching phonetics through sound symbolism 3 . 雑誌名 Proceedings of ISAPh. 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	2019年 6.最初と最後の頁 111-116 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 - 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 無

│ 1.著者名	4 . 巻
Shigeto Kawahara、 Atsushi Noto 、 Gakuji Kumagai	75(3)
	' '
2	F 交流左
2.論文標題	5.発行年
The sound symbolic patterns in Pokemon names.	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Phonetica	219 - 244
Phone CTCa	219 - 244
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1159/000484938	有
10.1103/000404330	F
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている (また、その予定である)	-
1.著者名	4 . 巻
	_
熊谷学而・川原繁人	155
2 . 論文標題	5 . 発行年
·····	
ポケモン名付けにおける母音と有声阻害音効果:実験と理論からアプローチ	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
言語研究	_
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
	13
+ 1,7,7,5	园 欧井莱
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
	4.巻 22(2)
1 . 著者名	
1.著者名 Shigeto Kawahara, Miwa Isobe, Yukino Kobayashi, Tomoko Monou and Reiko Okabe	22(2)
1.著者名 Shigeto Kawahara, Miwa Isobe, Yukino Kobayashi, Tomoko Monou and Reiko Okabe 2.論文標題	22(2) 5 . 発行年
1.著者名 Shigeto Kawahara, Miwa Isobe, Yukino Kobayashi, Tomoko Monou and Reiko Okabe 2.論文標題 Acquisition of sound symbolic values of vowels and voiced obstruents by Japanese children:	22(2)
1 . 著者名 Shigeto Kawahara, Miwa Isobe, Yukino Kobayashi, Tomoko Monou and Reiko Okabe 2 . 論文標題 Acquisition of sound symbolic values of vowels and voiced obstruents by Japanese children: Using a Pokemonastics paradigm.	22(2) 5.発行年 2018年
1 . 著者名 Shigeto Kawahara, Miwa Isobe, Yukino Kobayashi, Tomoko Monou and Reiko Okabe 2 . 論文標題 Acquisition of sound symbolic values of vowels and voiced obstruents by Japanese children: Using a Pokemonastics paradigm.	22(2) 5.発行年 2018年
1 . 著者名 Shigeto Kawahara, Miwa Isobe, Yukino Kobayashi, Tomoko Monou and Reiko Okabe 2 . 論文標題 Acquisition of sound symbolic values of vowels and voiced obstruents by Japanese children: Using a Pokemonastics paradigm. 3 . 雑誌名	22(2) 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名 Shigeto Kawahara, Miwa Isobe, Yukino Kobayashi, Tomoko Monou and Reiko Okabe 2 . 論文標題 Acquisition of sound symbolic values of vowels and voiced obstruents by Japanese children: Using a Pokemonastics paradigm.	22(2) 5.発行年 2018年
1 . 著者名 Shigeto Kawahara, Miwa Isobe, Yukino Kobayashi, Tomoko Monou and Reiko Okabe 2 . 論文標題 Acquisition of sound symbolic values of vowels and voiced obstruents by Japanese children: Using a Pokemonastics paradigm. 3 . 雑誌名	22(2) 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名 Shigeto Kawahara, Miwa Isobe, Yukino Kobayashi, Tomoko Monou and Reiko Okabe 2 . 論文標題 Acquisition of sound symbolic values of vowels and voiced obstruents by Japanese children: Using a Pokemonastics paradigm. 3 . 雜誌名 Journal of the Phonetic Society of Japan	22(2) 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 122 - 130
1 . 著者名 Shigeto Kawahara, Miwa Isobe, Yukino Kobayashi, Tomoko Monou and Reiko Okabe 2 . 論文標題 Acquisition of sound symbolic values of vowels and voiced obstruents by Japanese children: Using a Pokemonastics paradigm. 3 . 雑誌名	22(2) 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名 Shigeto Kawahara, Miwa Isobe, Yukino Kobayashi, Tomoko Monou and Reiko Okabe 2 . 論文標題 Acquisition of sound symbolic values of vowels and voiced obstruents by Japanese children: Using a Pokemonastics paradigm. 3 . 雑誌名 Journal of the Phonetic Society of Japan 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	22(2) 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 122 - 130
1 . 著者名 Shigeto Kawahara, Miwa Isobe, Yukino Kobayashi, Tomoko Monou and Reiko Okabe 2 . 論文標題 Acquisition of sound symbolic values of vowels and voiced obstruents by Japanese children: Using a Pokemonastics paradigm. 3 . 雜誌名 Journal of the Phonetic Society of Japan	22(2) 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 122 - 130
1 . 著者名 Shigeto Kawahara, Miwa Isobe, Yukino Kobayashi, Tomoko Monou and Reiko Okabe 2 . 論文標題 Acquisition of sound symbolic values of vowels and voiced obstruents by Japanese children: Using a Pokemonastics paradigm. 3 . 雑誌名 Journal of the Phonetic Society of Japan 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし	22(2) 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 122 - 130 査読の有無
1 . 著者名 Shigeto Kawahara, Miwa Isobe, Yukino Kobayashi, Tomoko Monou and Reiko Okabe 2 . 論文標題 Acquisition of sound symbolic values of vowels and voiced obstruents by Japanese children: Using a Pokemonastics paradigm. 3 . 雑誌名 Journal of the Phonetic Society of Japan 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス	22(2) 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 122 - 130
1 . 著者名 Shigeto Kawahara, Miwa Isobe, Yukino Kobayashi, Tomoko Monou and Reiko Okabe 2 . 論文標題 Acquisition of sound symbolic values of vowels and voiced obstruents by Japanese children: Using a Pokemonastics paradigm. 3 . 雑誌名 Journal of the Phonetic Society of Japan 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし	22(2) 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 122 - 130 査読の有無
1 . 著者名 Shigeto Kawahara, Miwa Isobe, Yukino Kobayashi, Tomoko Monou and Reiko Okabe 2 . 論文標題 Acquisition of sound symbolic values of vowels and voiced obstruents by Japanese children: Using a Pokemonastics paradigm. 3 . 雑誌名 Journal of the Phonetic Society of Japan 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス	22(2) 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 122 - 130 査読の有無
1 . 著者名 Shigeto Kawahara, Miwa Isobe, Yukino Kobayashi, Tomoko Monou and Reiko Okabe 2 . 論文標題 Acquisition of sound symbolic values of vowels and voiced obstruents by Japanese children: Using a Pokemonastics paradigm. 3 . 雑誌名 Journal of the Phonetic Society of Japan 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	22(2) 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 122 - 130 査読の有無 有 国際共著
1 . 著者名 Shigeto Kawahara, Miwa Isobe, Yukino Kobayashi, Tomoko Monou and Reiko Okabe 2 . 論文標題 Acquisition of sound symbolic values of vowels and voiced obstruents by Japanese children: Using a Pokemonastics paradigm. 3 . 雑誌名 Journal of the Phonetic Society of Japan 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	22(2) 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 122 - 130 査読の有無 有 国際共著
1 . 著者名 Shigeto Kawahara, Miwa Isobe, Yukino Kobayashi, Tomoko Monou and Reiko Okabe 2 . 論文標題 Acquisition of sound symbolic values of vowels and voiced obstruents by Japanese children: Using a Pokemonastics paradigm. 3 . 雑誌名 Journal of the Phonetic Society of Japan 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	22(2) 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 122 - 130 査読の有無 有 国際共著
1 . 著者名 Shigeto Kawahara, Miwa Isobe, Yukino Kobayashi, Tomoko Monou and Reiko Okabe 2 . 論文標題 Acquisition of sound symbolic values of vowels and voiced obstruents by Japanese children: Using a Pokemonastics paradigm. 3 . 雑誌名 Journal of the Phonetic Society of Japan 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名	22(2) 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 122 - 130 査読の有無 有 国際共著
1 . 著者名 Shigeto Kawahara, Miwa Isobe, Yukino Kobayashi, Tomoko Monou and Reiko Okabe 2 . 論文標題 Acquisition of sound symbolic values of vowels and voiced obstruents by Japanese children: Using a Pokemonastics paradigm. 3 . 雑誌名 Journal of the Phonetic Society of Japan 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Shigeto Kawahara, Miwa Isobe, Yukino Kobayashi, Tomoko Okabe, Reiko Okabe, and Yasuyo Minagawa	22(2) 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 122-130 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 50
1 . 著者名 Shigeto Kawahara, Miwa Isobe, Yukino Kobayashi, Tomoko Monou and Reiko Okabe 2 . 論文標題 Acquisition of sound symbolic values of vowels and voiced obstruents by Japanese children: Using a Pokemonastics paradigm. 3 . 雑誌名 Journal of the Phonetic Society of Japan 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Shigeto Kawahara, Miwa Isobe, Yukino Kobayashi, Tomoko Okabe, Reiko Okabe, and Yasuyo Minagawa 2 . 論文標題	22(2) 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 122-130 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 50 5.発行年
1 . 著者名 Shigeto Kawahara, Miwa Isobe, Yukino Kobayashi, Tomoko Monou and Reiko Okabe 2 . 論文標題 Acquisition of sound symbolic values of vowels and voiced obstruents by Japanese children: Using a Pokemonastics paradigm. 3 . 雑誌名 Journal of the Phonetic Society of Japan 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Shigeto Kawahara, Miwa Isobe, Yukino Kobayashi, Tomoko Okabe, Reiko Okabe, and Yasuyo Minagawa	22(2) 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 122-130 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 50
1 . 著者名 Shigeto Kawahara, Miwa Isobe, Yukino Kobayashi, Tomoko Monou and Reiko Okabe 2 . 論文標題 Acquisition of sound symbolic values of vowels and voiced obstruents by Japanese children: Using a Pokemonastics paradigm. 3 . 雑誌名 Journal of the Phonetic Society of Japan 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Shigeto Kawahara, Miwa Isobe, Yukino Kobayashi, Tomoko Okabe, Reiko Okabe, and Yasuyo Minagawa 2 . 論文標題 Acquisition of the takete-maluma effect by Japanese speakers	22(2) 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 122-130 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 50 5.発行年 2019年
1 . 著者名 Shigeto Kawahara, Miwa Isobe, Yukino Kobayashi, Tomoko Monou and Reiko Okabe 2 . 論文標題 Acquisition of sound symbolic values of vowels and voiced obstruents by Japanese children: Using a Pokemonastics paradigm. 3 . 雑誌名 Journal of the Phonetic Society of Japan 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Shigeto Kawahara, Miwa Isobe, Yukino Kobayashi, Tomoko Okabe, Reiko Okabe, and Yasuyo Minagawa 2 . 論文標題 Acquisition of the takete-maluma effect by Japanese speakers	22(2) 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 122-130 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 50 5.発行年 2019年
1 . 著者名 Shigeto Kawahara, Miwa Isobe, Yukino Kobayashi, Tomoko Monou and Reiko Okabe 2 . 論文標題 Acquisition of sound symbolic values of vowels and voiced obstruents by Japanese children: Using a Pokemonastics paradigm. 3 . 雑誌名 Journal of the Phonetic Society of Japan 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Shigeto Kawahara, Miwa Isobe, Yukino Kobayashi, Tomoko Okabe, Reiko Okabe, and Yasuyo Minagawa 2 . 論文標題 Acquisition of the takete-maluma effect by Japanese speakers 3 . 雑誌名	22(2) 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 122-130 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 50 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
1 . 著者名 Shigeto Kawahara, Miwa Isobe, Yukino Kobayashi, Tomoko Monou and Reiko Okabe 2 . 論文標題 Acquisition of sound symbolic values of vowels and voiced obstruents by Japanese children: Using a Pokemonastics paradigm. 3 . 雑誌名 Journal of the Phonetic Society of Japan 月載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Shigeto Kawahara, Miwa Isobe, Yukino Kobayashi, Tomoko Okabe, Reiko Okabe, and Yasuyo Minagawa 2 . 論文標題 Acquisition of the takete-maluma effect by Japanese speakers	22(2) 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 122-130 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 50 5.発行年 2019年
1 . 著者名 Shigeto Kawahara, Miwa Isobe, Yukino Kobayashi, Tomoko Monou and Reiko Okabe 2 . 論文標題 Acquisition of sound symbolic values of vowels and voiced obstruents by Japanese children: Using a Pokemonastics paradigm. 3 . 雑誌名 Journal of the Phonetic Society of Japan 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Shigeto Kawahara, Miwa Isobe, Yukino Kobayashi, Tomoko Okabe, Reiko Okabe, and Yasuyo Minagawa 2 . 論文標題 Acquisition of the takete-maluma effect by Japanese speakers 3 . 雑誌名	22(2) 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 122-130 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 50 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
1 . 著者名 Shigeto Kawahara, Miwa Isobe, Yukino Kobayashi, Tomoko Monou and Reiko Okabe 2 . 論文標題 Acquisition of sound symbolic values of vowels and voiced obstruents by Japanese children: Using a Pokemonastics paradigm. 3 . 雑誌名 Journal of the Phonetic Society of Japan 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Shigeto Kawahara, Miwa Isobe, Yukino Kobayashi, Tomoko Okabe, Reiko Okabe, and Yasuyo Minagawa 2 . 論文標題 Acquisition of the takete-maluma effect by Japanese speakers 3 . 雑誌名 REPORTS of the Keio Institute of Cultural and Linguistic Studies	22(2) 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 122-130 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 50 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 63-78
1 . 著者名 Shigeto Kawahara, Miwa Isobe, Yukino Kobayashi, Tomoko Monou and Reiko Okabe 2 . 論文標題 Acquisition of sound symbolic values of vowels and voiced obstruents by Japanese children: Using a Pokemonastics paradigm. 3 . 雑誌名 Journal of the Phonetic Society of Japan 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Shigeto Kawahara, Miwa Isobe, Yukino Kobayashi, Tomoko Okabe, Reiko Okabe, and Yasuyo Minagawa 2 . 論文標題 Acquisition of the takete-maluma effect by Japanese speakers 3 . 雑誌名 REPORTS of the Keio Institute of Cultural and Linguistic Studies	22(2) 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 122-130 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 50 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
1 . 著者名 Shigeto Kawahara, Miwa Isobe, Yukino Kobayashi, Tomoko Monou and Reiko Okabe 2 . 論文標題 Acquisition of sound symbolic values of vowels and voiced obstruents by Japanese children: Using a Pokemonastics paradigm. 3 . 雑誌名 Journal of the Phonetic Society of Japan 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Shigeto Kawahara, Miwa Isobe, Yukino Kobayashi, Tomoko Okabe, Reiko Okabe, and Yasuyo Minagawa 2 . 論文標題 Acquisition of the takete-maluma effect by Japanese speakers 3 . 雑誌名 REPORTS of the Keio Institute of Cultural and Linguistic Studies	22(2) 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 122 - 130 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 50 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 63 - 78
1. 著者名 Shigeto Kawahara, Miwa Isobe, Yukino Kobayashi, Tomoko Monou and Reiko Okabe 2. 論文標題 Acquisition of sound symbolic values of vowels and voiced obstruents by Japanese children: Using a Pokemonastics paradigm. 3. 雑誌名 Journal of the Phonetic Society of Japan 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 Shigeto Kawahara, Miwa Isobe, Yukino Kobayashi, Tomoko Okabe, Reiko Okabe, and Yasuyo Minagawa 2. 論文標題 Acquisition of the takete-maluma effect by Japanese speakers 3. 雑誌名 REPORTS of the Keio Institute of Cultural and Linguistic Studies	22(2) 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 122-130 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 50 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 63-78
1 . 著者名 Shigeto Kawahara, Miwa Isobe, Yukino Kobayashi, Tomoko Monou and Reiko Okabe 2 . 論文標題 Acquisition of sound symbolic values of vowels and voiced obstruents by Japanese children: Using a Pokemonastics paradigm. 3 . 雑誌名 Journal of the Phonetic Society of Japan 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 1 . 著者名 Shigeto Kawahara, Miwa Isobe, Yukino Kobayashi, Tomoko Okabe, Reiko Okabe, and Yasuyo Minagawa 2 . 論文標題 Acquisition of the takete-maluma effect by Japanese speakers 3 . 雑誌名 REPORTS of the Keio Institute of Cultural and Linguistic Studies 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	22(2) 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 122-130 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 50 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 63-78 査読の有無 無
1 . 著者名 Shigeto Kawahara, Miwa Isobe, Yukino Kobayashi, Tomoko Monou and Reiko Okabe 2 . 論文標題 Acquisition of sound symbolic values of vowels and voiced obstruents by Japanese children: Using a Pokemonastics paradigm. 3 . 雑誌名 Journal of the Phonetic Society of Japan 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 1 . 著者名 Shigeto Kawahara, Miwa Isobe, Yukino Kobayashi, Tomoko Okabe, Reiko Okabe, and Yasuyo Minagawa 2 . 論文標題 Acquisition of the takete-maluma effect by Japanese speakers 3 . 雑誌名 REPORTS of the Keio Institute of Cultural and Linguistic Studies 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	22(2) 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 122 - 130 査読の有無 有 国際共著 4 . 巻 50 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 63 - 78
1 . 著者名 Shigeto Kawahara, Miwa Isobe, Yukino Kobayashi, Tomoko Monou and Reiko Okabe 2 . 論文標題 Acquisition of sound symbolic values of vowels and voiced obstruents by Japanese children: Using a Pokemonastics paradigm. 3 . 雑誌名 Journal of the Phonetic Society of Japan 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 1 . 著者名 Shigeto Kawahara, Miwa Isobe, Yukino Kobayashi, Tomoko Okabe, Reiko Okabe, and Yasuyo Minagawa 2 . 論文標題 Acquisition of the takete-maluma effect by Japanese speakers 3 . 雑誌名 REPORTS of the Keio Institute of Cultural and Linguistic Studies 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	22(2) 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 122-130 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 50 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 63-78 査読の有無 無

	. 24
1.著者名	4 . 巻
Kawahara Shigeto、Breiss Canaan	12
2 . 論文標題	5 . 発行年
Exploring the nature of cumulativity in sound symbolism: Experimental studies of Pokemonastics	2021年
with English speakers	2021—
	6 B40 B// 6 E
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Laboratory Phonology: Journal of the Association for Laboratory Phonology	_
, , , ,	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.5334/labphon.280	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
1 . 著者名	4 . 巻
	20
Godoy Mahayana C., Gomes Andr? Lucas, Kumagai Gakuji, Kawahara Shigeto	20
0 *A-1	5 7%/= fr
2.論文標題	5 . 発行年
Sound symbolism in Brazilian Portuguese Pokemon names: Evidence for cross-linguistic	2021年
similarities and differences	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
** ** * * *	1 - 1
Journal of Portuguese Linguistics	1 - 1
The shall a state of the state	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.5334/jp1.257	有
<i>'</i>	
オープンアクセス	国際共著
· · · · · · = · ·	該当する
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当りる
	1
1.著者名	4 . 巻
Kawahara Shigeto、Moore Jeff	59(3)
2.論文標題	5.発行年
2.論文標題	5 . 発行年
2.論文標題 How to express evolution in English Pokemon names	5 . 発行年 2021年
How to express evolution in English Pokemon names	2021年
How to express evolution in English Pokemon names 3 . 雑誌名	
How to express evolution in English Pokemon names	2021年
How to express evolution in English Pokemon names 3 . 雑誌名	2021年
How to express evolution in English Pokemon names 3 . 雑誌名	2021年
How to express evolution in English Pokemon names 3.雑誌名 Linguistics	2021年 6.最初と最後の頁 -
How to express evolution in English Pokemon names 3.雑誌名 Linguistics 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	2021年 6.最初と最後の頁 一 査読の有無
How to express evolution in English Pokemon names 3.雑誌名 Linguistics	2021年 6.最初と最後の頁 -
How to express evolution in English Pokemon names 3.雑誌名 Linguistics 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1515/ling-2021-0057	2021年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有
How to express evolution in English Pokemon names 3.雑誌名 Linguistics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1515/ling-2021-0057 オープンアクセス	2021年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有
How to express evolution in English Pokemon names 3.雑誌名 Linguistics 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1515/ling-2021-0057	2021年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有
How to express evolution in English Pokemon names 3.雑誌名 Linguistics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1515/ling-2021-0057 オープンアクセス	2021年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有
How to express evolution in English Pokemon names 3.雑誌名 Linguistics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1515/ling-2021-0057 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2021年 6.最初と最後の頁
How to express evolution in English Pokemon names 3.雑誌名 Linguistics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1515/ling-2021-0057 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2021年 6.最初と最後の頁
How to express evolution in English Pokemon names 3.雑誌名 Linguistics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1515/ling-2021-0057 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2021年 6.最初と最後の頁
How to express evolution in English Pokemon names 3.雑誌名 Linguistics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1515/ling-2021-0057 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Kawahara Shigeto、Kumagai Gakuji	2021年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 37
How to express evolution in English Pokemon names 3.雑誌名 Linguistics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1515/ling-2021-0057 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Kawahara Shigeto、Kumagai Gakuji 2.論文標題	2021年 6.最初と最後の頁 一 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 37
How to express evolution in English Pokemon names 3.雑誌名 Linguistics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1515/ling-2021-0057 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Kawahara Shigeto、Kumagai Gakuji	2021年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 37
How to express evolution in English Pokemon names 3.雑誌名 Linguistics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1515/ling-2021-0057 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Kawahara Shigeto、Kumagai Gakuji 2.論文標題	2021年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 37 5.発行年 2021年
How to express evolution in English Pokemon names 3.雑誌名 Linguistics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1515/ling-2021-0057 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Kawahara Shigeto、Kumagai Gakuji 2.論文標題 What voiced obstruents symbolically represent in Japanese: evidence from the Pokemon universe	2021年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 37 5.発行年 2021年
How to express evolution in English Pokemon names 3.雑誌名 Linguistics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1515/ling-2021-0057 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Kawahara Shigeto、Kumagai Gakuji 2.論文標題 What voiced obstruents symbolically represent in Japanese: evidence from the Pokemon universe 3.雑誌名	2021年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 37 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁
How to express evolution in English Pokemon names 3 . 雑誌名 Linguistics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1515/ling-2021-0057 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Kawahara Shigeto、Kumagai Gakuji 2 . 論文標題 What voiced obstruents symbolically represent in Japanese: evidence from the Pokemon universe	2021年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 37 5.発行年 2021年
How to express evolution in English Pokemon names 3.雑誌名 Linguistics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1515/ling-2021-0057 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Kawahara Shigeto、Kumagai Gakuji 2.論文標題 What voiced obstruents symbolically represent in Japanese: evidence from the Pokemon universe 3.雑誌名	2021年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 37 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁
How to express evolution in English Pokemon names 3 . 雑誌名 Linguistics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1515/ling-2021-0057 オープンアクセス	2021年 6.最初と最後の頁 一 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 37 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 3-24
How to express evolution in English Pokemon names 3 . 雑誌名 Linguistics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1515/ling-2021-0057 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Kawahara Shigeto、Kumagai Gakuji 2 . 論文標題 What voiced obstruents symbolically represent in Japanese: evidence from the Pokemon universe 3 . 雑誌名 Journal of Japanese Linguistics	2021年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 37 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁
How to express evolution in English Pokemon names 3 . 雑誌名 Linguistics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1515/ling-2021-0057 オープンアクセス	2021年 6.最初と最後の頁 一 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 37 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 3-24
How to express evolution in English Pokemon names 3 . 雑誌名 Linguistics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1515/Ling-2021-0057 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Kawahara Shigeto、Kumagai Gakuji 2 . 論文標題 What voiced obstruents symbolically represent in Japanese: evidence from the Pokemon universe 3 . 雑誌名 Journal of Japanese Linguistics	2021年 6.最初と最後の頁 一 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 37 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 3-24 査読の有無
How to express evolution in English Pokemon names 3 . 雑誌名 Linguistics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1515/ling-2021-0057 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Kawahara Shigeto、Kumagai Gakuji 2 . 論文標題 What voiced obstruents symbolically represent in Japanese: evidence from the Pokemon universe 3 . 雑誌名 Journal of Japanese Linguistics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1515/jjl-2021-2031	2021年 6.最初と最後の頁 一 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 37 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 3-24 査読の有無 有
How to express evolution in English Pokemon names 3 . 雑誌名 Linguistics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1515/ling-2021-0057 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Kawahara Shigeto、Kumagai Gakuji 2 . 論文標題 What voiced obstruents symbolically represent in Japanese: evidence from the Pokemon universe 3 . 雑誌名 Journal of Japanese Linguistics	2021年 6.最初と最後の頁 一 査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 37 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 3-24 査読の有無

***	T . w
1 . 著者名	4 . 巻
Kawahara Shigeto	37
2.論文標題	5.発行年
A wug-shaped curve in sound symbolism: the case of Japanese Pokemon names	2020年
	·
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Phonology	383 - 418
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
10.1017/S0952675720000202	有
10.1017/30932073720000202	F
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
. ***	
1 . 著者名	4 . 巻
Kawahara Shigeto	14
2 . 論文標題	5.発行年
Sound symbolism and theoretical phonology (teaching and learning guide)	2020年
count common and theoretical phonology (teaching and learning guide)	2020-
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Language and Linguistics Compass	_
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
10.1111/Inc3.12376	有
10.1111/11163.12370	F
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
Kawahara Shigeto	14
2.論文標題	5.発行年
Teaching and learning guide for "Sound symbolism and theoretical phonology"	2020年
reactiffing and realiffing guide for Sound Symbolism and theoretical phonorogy	2020-
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Language and Linguistics Compass	_
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
10.1111/Inc3.12372	無
10.1111/11100.12012	***
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
4. ##4.6	[• y ₄
1. 著者名	4.巻
Kawahara Shigeto、Godoy Mahayana C.、Kumagai Gakuji	6
2.論文標題	5.発行年
Do Sibilants Fly? Evidence from a Sound Symbolic Pattern in Pokemon Names	2020年
20 CIDITATES TTY: EVICENCE TION & COUNT CYMDOTTE LATTETH THE LONGHOIL NAMES	2020—
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Open Linguistics	386 - 400
提載会立のDOL(ごごねますごことは明る)	本芸の方無
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1515/opli-2020-0027	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1 . 著者名 Kawahara Shigeto、Kumagai Gakuji	4.巻 35
2 . 論文標題 Expressing evolution in Pokemon names: Experimental explorations	5 . 発行年 2019年
3.雑誌名 Journal of Japanese Linguistics	6.最初と最後の頁3-38
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1515/jjl-2019-2002	
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名 Kawahara, Shigeto	4. 巻
2 . 論文標題 Testing MaxEnt with sound symbolism: A stripy wug-shaped curve in Japanese Pokemon names	5.発行年 2021年
3.雑誌名 Language	6.最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名 Kawahara, Shigeto	4.巻 24
2.論文標題 Pokemon meets psychology and linguistics: Experimental and theoretical exploration of the bouba-kiki effect	5.発行年 2021年
3.雑誌名 Phonological Studies	6 . 最初と最後の頁 77 - 84
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	 査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
〔学会発表〕 計23件(うち招待講演 11件/うち国際学会 5件) 1.発表者名	
川原繁人	
2 . 発表標題 音とことばのふしぎな世界 2019:プリキュア、ポケモンから日本語ラップまで	
3 . 学会等名 愛知大学招待講演 (招待講演)	

愛知大学招待講演 (招待講演)

4 . 発表年 2019年

北京 新表標題 ス・発表者名 川原家人 北京 新表標題 ス・発表者名 数理の裏伊計島セミナー(招待講演) 北京 東表標 2・発表構題 The sound symbolic value of Japanese lexical pitch accent: A case study of baby diaper names 北京 北京
2 . 栗表標題 私たちはどうしゃべっているのか?音声学への招待 3 . 学会等名 数理の質P計員セミナー(招待講演) 4 . 飛表年 2020年 1 . 発表者名 Kumagai, Gakuji & Shigeto Kawahara 2 . 発表標題 The sound symbolic value of Japanese lexical pitch accent: A case study of baby diaper names 3 . 学会等名 International Conference on Phonetics and Phonology (ICPP) (国際学会) 4 . 飛表年 2019年 1 . 発表者名 川原家人 2 . 発表標題 プリキュア名と両層音の音象徴 3 . 学会等名 日本音声学会第 33 回全国大会 4 . 発表者 862字而・川原家人
私たちはどうしゃべっているのか?音声学への招待 3 . 学会等名 数理の質伊計局セミナー(招待講演) 4 . 発表者名 Kunagai, Gakuji & Shigeto Kawahara 2 . 発表標題 The sound symbolic value of Japanese lexical pitch accent: A case study of baby diaper names 3 . 学会等名 International Conference on Phonetics and Phonology (ICPP) (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 川原繁人 2 . 発表標題 プリキュア名と同暦音の音象徴 3 . 学会等名 日本音声学会第 33 回全国大会 4 . 発表者名 - 日本音声学会第 33 回全国大会 4 . 発表者名 - 原名者名 - 日本音声学会第 33 回全国大会 4 . 発表者名 - 原名者名 - 原名学而・川原繁人
私たちはどうしゃべっているのか?音声学への招待 3 . 学会等名 数理の質伊計局セミナー(招待講演) 4 . 発表者名 Kunagai, Gakuji & Shigeto Kawahara 2 . 発表標題 The sound symbolic value of Japanese lexical pitch accent: A case study of baby diaper names 3 . 学会等名 International Conference on Phonetics and Phonology (ICPP) (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 川原繁人 2 . 発表標題 プリキュア名と同暦音の音象徴 3 . 学会等名 日本音声学会第 33 回全国大会 4 . 発表者名 - 日本音声学会第 33 回全国大会 4 . 発表者名 - 原名者名 - 日本音声学会第 33 回全国大会 4 . 発表者名 - 原名者名 - 原名学而・川原繁人
私たちはどうしゃべっているのか?音声学への招待 3 . 学会等名 数理の質伊計島セミナー(招待講演) 4 . 発表者名
数理の翼伊計局セミナー(招待講演) 4 . 発表年 2020年 1 . 発表者名 Kumagai, Gakuji & Shigeto Kawahara 2 . 発表標題 The sound symbolic value of Japanese lexical pitch accent: A case study of baby diaper names 3 . 学会等名 International Conference on Phonetics and Phonology (ICPP) (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 川原繁人 2 . 発表標題 プリキュア名と両唇音の音象徴 3 . 学会等名 日本音声学会第 33 回全国大会 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 服谷学而・川原繁人
数理の翼伊計局セミナー(招待講演) 4 . 発表年 2020年 1 . 発表者名 Kumagai, Gakuji & Shigeto Kawahara 2 . 発表標題 The sound symbolic value of Japanese lexical pitch accent: A case study of baby diaper names 3 . 学会等名 International Conference on Phonetics and Phonology (ICPP) (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 川原繁人 2 . 発表標題 プリキュア名と両唇音の音象徴 3 . 学会等名 日本音声学会第 33 回全国大会 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 服谷学而・川原繁人
数理の翼伊計局セミナー(招待講演) 4 . 発表年 2020年 1 . 発表者名 Kumagai, Gakuji & Shigeto Kawahara 2 . 発表標題 The sound symbolic value of Japanese lexical pitch accent: A case study of baby diaper names 3 . 学会等名 International Conference on Phonetics and Phonology (ICPP) (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 川原繁人 2 . 発表標題 プリキュア名と両唇音の音象徴 3 . 学会等名 日本音声学会第 33 回全国大会 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 服谷学而・川原繁人
数理の翼伊計局セミナー(招待講演) 4 . 発表年 2020年 1 . 発表者名 Kumagai, Gakuji & Shigeto Kawahara 2 . 発表標題 The sound symbolic value of Japanese lexical pitch accent: A case study of baby diaper names 3 . 学会等名 International Conference on Phonetics and Phonology (ICPP)(国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 川原繁人 2 . 発表標題 プリキュア名と両唇音の音象徴 3 . 学会等名 日本音声学会第 33 回全国大会 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 服役学而・川原繁人
1 . 発表者名 Kumagai, Gakuji & Shigeto Kawahara 2 . 発表標題 The sound symbolic value of Japanese lexical pitch accent: A case study of baby diaper names 3 . 学会等名 International Conference on Phonetics and Phonology (ICPP) (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 川原繁人 2 . 発表標題 プリキュア名と両唇音の音象徴 3 . 学会等名 日本音声学会第 33 回全国大会 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 熊谷学而・川原繁人
1 . 発表者名 Kumagai, Gakuji & Shigeto Kawahara 2 . 発表標題 The sound symbolic value of Japanese lexical pitch accent: A case study of baby diaper names 3 . 学会等名 International Conference on Phonetics and Phonology (ICPP) (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 川原繁人 2 . 発表標題 プリキュア名と両唇音の音象徴 3 . 学会等名 日本音声学会第 33 回全国大会 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 熊谷学而・川原繁人
Record to the sound symbolic value of Japanese lexical pitch accent: A case study of baby diaper names Record to the sound symbolic value of Japanese lexical pitch accent: A case study of baby diaper names Record to the sound symbolic value of Japanese lexical pitch accent: A case study of baby diaper names Record to the sound symbolic value of Japanese lexical pitch accent: A case study of baby diaper names Record to the sound symbolic value of Japanese lexical pitch accent: A case study of baby diaper names Record to the sound symbolic value of Japanese lexical pitch accent: A case study of baby diaper names Record to the sound symbolic value of Japanese lexical pitch accent: A case study of baby diaper names Record to the sound symbolic value of Japanese lexical pitch accent: A case study of baby diaper names Record to the sound symbolic value of Japanese lexical pitch accent: A case study of baby diaper names Record to the sound symbolic value of Japanese lexical pitch accent: A case study of baby diaper names Record to the sound symbol case study of baby diaper names Record to the sound symbol case study of baby diaper names Record to the sound symbol case study of baby diaper names Record to the sound symbol case study of baby diaper names Record to the sound symbol case study of baby diaper names Record to the sound symbol case study of baby diaper names Record to the sound symbol case study of baby diaper names Record to the sound symbol case study of baby diaper names Record to the sound symbol case study of baby diaper names Record to the sound symbol case study of baby diaper names Record to the sound symbol case study of baby diaper names Record to the sound symbol case study of baby diaper names Record to the sound symbol case study of baby diaper names Record to the sound symbol case study of baby diaper names Record to the sound symbol case study of baby diaper names
 Kumagai, Gakuji & Shigeto Kawahara 2. 発表標題 The sound symbolic value of Japanese lexical pitch accent: A case study of baby diaper names 3. 学会等名 International Conference on Phonetics and Phonology (ICPP) (国際学会) 4. 発表性 2019年 1. 発表者名 川原繁人 2. 発表標題 プリキュア名と両唇音の音象徴 3. 学会等名 日本音声学会第 33 回全国大会 4. 発表性 2019年 1. 発表者名 熊谷宇而・川原繁人 2. 発表標題 2. 発表標題
2 . 発表標題 The sound symbolic value of Japanese lexical pitch accent: A case study of baby diaper names 3 . 学会等名 International Conference on Phonetics and Phonology (ICPP) (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 川原繁人 2 . 発表標題 プリキュア名と両唇音の音象徴 3 . 学会等名 日本音声学会第 33 回全国大会 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 熊谷学而・川原繁人
The sound symbolic value of Japanese lexical pitch accent: A case study of baby diaper names 3 . 学会等名 International Conference on Phonetics and Phonology (ICPP) (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 川原繁人 2 . 発表標題 プリキュア名と両唇音の音象徴 3 . 学会等名 日本音声学会第 33 回全国大会 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 熊谷学市・川原繁人
The sound symbolic value of Japanese lexical pitch accent: A case study of baby diaper names 3 . 学会等名 International Conference on Phonetics and Phonology (ICPP) (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 川原繁人 2 . 発表標題 プリキュア名と両唇音の音象徴 3 . 学会等名 日本音声学会第 33 回全国大会 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 熊谷学市・川原繁人
The sound symbolic value of Japanese lexical pitch accent: A case study of baby diaper names 3 . 学会等名 International Conference on Phonetics and Phonology (ICPP) (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 川原繁人 2 . 発表標題 プリキュア名と両唇音の音象徴 3 . 学会等名 日本音声学会第 33 回全国大会 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 熊谷学市・川原繁人
3. 学会等名 International Conference on Phonetics and Phonology (ICPP) (国際学会) 4. 発表年 2019年 1. 発表者名 川原繁人 2. 発表標題 ブリキュア名と両唇音の音象徴 3. 学会等名 日本音声学会第 33 回全国大会 4. 発表年 2019年 1. 発表者名 熊谷学而・川原繁人 2. 発表標題
International Conference on Phonetics and Phonology (ICPP) (国際学会)
International Conference on Phonetics and Phonology (ICPP) (国際学会)
International Conference on Phonetics and Phonology (ICPP) (国際学会)
4. 発表年 2019年 1. 発表者名 川原繁人 2. 発表標題 ブリキュア名と両唇音の音象徴 3. 学会等名 日本音声学会第 33 回全国大会 4. 発表年 2019年 1. 発表者名 熊谷学而・川原繁人 2. 発表標題
2.発表者名 川原繁人 2.発表標題 ブリキュア名と両唇音の音象徴 3.学会等名 日本音声学会第 33 回全国大会 4.発表年 2019年 1.発表者名 熊谷学而・川原繁人
2.発表者名 川原繁人 2.発表標題 ブリキュア名と両唇音の音象徴 3.学会等名 日本音声学会第 33 回全国大会 4.発表年 2019年 1.発表者名 熊谷学而・川原繁人
 発表者名 川原繁人 発表標題 ブリキュア名と両唇音の音象徴 学会等名 日本音声学会第 33 回全国大会 発表年 2019年 発表者名 熊谷学而・川原繁人
 川原繁人 2 . 発表標題 プリキュア名と両唇音の音象徴 3 . 学会等名 日本音声学会第 33 回全国大会 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 熊谷学而・川原繁人 2 . 発表標題
2. 発表標題 プリキュア名と両唇音の音象徴 3. 学会等名 日本音声学会第 33 回全国大会 4. 発表年 2019年 1. 発表者名 熊谷学而・川原繁人 2. 発表標題
プリキュア名と両唇音の音象徴 3 . 学会等名 日本音声学会第 33 回全国大会 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 熊谷学而・川原繁人
プリキュア名と両唇音の音象徴 3 . 学会等名 日本音声学会第 33 回全国大会 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 熊谷学而・川原繁人
プリキュア名と両唇音の音象徴 3 . 学会等名 日本音声学会第 33 回全国大会 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 熊谷学而・川原繁人
3 . 学会等名 日本音声学会第 33 回全国大会 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 熊谷学而・川原繁人 2 . 発表標題
日本音声学会第 33 回全国大会 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 熊谷学而·川原繁人 2 . 発表標題
日本音声学会第 33 回全国大会 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 熊谷学而·川原繁人 2 . 発表標題
日本音声学会第 33 回全国大会 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 熊谷学而·川原繁人 2 . 発表標題
4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 熊谷学而·川原繁人 2 . 発表標題
2019年 1. 発表者名 熊谷学而·川原繁人 2. 発表標題
1.発表者名 熊谷学而·川原繁人 2.発表標題
熊谷学而·川原繁人 2.発表標題
熊谷学而·川原繁人 2.発表標題
2.発表標題
3.学会等名
日本音声学会第 33 回全国大会
4 . 発表年
/IIIYEE
2019年
ZU19年

1.発表者名 小林 ゆきの、磯部 美和、桃生 朋子、岡部 玲子、川原 繁人
2.発表標題 幼児はポケモン名付けに音象徴を用いるか-ポケモンのネーミングにおける母音と有声阻害音の効果-
3 . 学会等名 日本言語学会第 156 回大会
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 川原繁人
2 . 発表標題 続「あ」は「い」より大きい!?
3.学会等名 大東文化大学秋季英文学会(招待講演)
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 川原繁人
2.発表標題 名付けの不思議と音声の不思議
3 . 学会等名 日本大学国際教養学科 第2回学術講演会(招待講演)
4 . 発表年 2018年
1 . 発表者名 Yukino Kobayashi, Miwa Isobe, Shigeto Kawahara, Tomoko Monou, Reiko Okabe, Kazuhiro Abe, Yasuyo Minagawa
2 . 発表標題 Acquisition of the takete-maluma effects by Japanese speaker: A cross-sectional study
3 . 学会等名 MAPLL × TCP × TL × TaLK(国際学会)
4 . 発表年 2018年

1.発表者名
Shigeto Kawahara
-
2.発表標題
Teaching phonetics through sound symbolism
reaching phonetres through sound symbolism
3.学会等名
The 2nd International Symposium on Applied Phonotics(招待講演)(国際学会)
4.発表年
2018年
1.発表者名
川原繁人
2 . 発表標題
音象徴からみる『音とことばのふしぎな世界』:ポケモン、ウルトラマン、メイドさん分析から言語学教育へ
3.学会等名
沖縄外語文学会(招待講演)
/
4 3%±7r
4. 発表年
2017年
1.発表者名
熊谷学而・川原繁人
流口 JIII
2
2. 発表標題
ポケモンのネーミングにおける母音と有声阻害音の効果
3.学会等名
日本言語学会第 155 回大会
4 . 発表年
2017年
1.発表者名
熊谷学而・川原繁人
2.発表標題
音象徴の抽象性:赤ちゃん用オムツのネーミングにおける唇音
日が長くはない、ことにははないと、「ことにはこの口口
2 246
3.学会等名
日本音声学会第31 回全国大会
4.発表年
2017年

1.発表者名 Kawahara, Shigeto
2 . 発表標題 Pokemonastics: what we are doing and why we are doing it.
3 . 学会等名 University of College London(招待講演)
4 . 発表年 2021年
1 . 発表者名 Kawahara, Shigeto
2 . 発表標題 Pokemonastics: what we are doing and why we are doing it.
3.学会等名 ZAS(招待講演)
4 . 発表年 2020年
1.発表者名 Kawahara, Shigeto
2 . 発表標題 Pokemonastics: what we are doing and why we are doing it.
3.学会等名 CNRS(招待講演)
4.発表年 2021年
1 . 発表者名 Kawahara, Shigeto
2 . 発表標題 What can we learn about linguistic knowledge from Pokemon names
3 . 学会等名 University of North Carolina, Carolina Asia Center(招待講演)
4 . 発表年 2021年

1.発表者名
川原繁人
オンラインで(も)楽しく学ぶ音声学
3.学会等名
日本音声学会公開セミナー
2021年
20217
1.発表者名
Shigeto Kawahara
2.発表標題
Interfacing sound symbolism with formal phonology
IERS workshop: Current trends in the interface between phonetics and phonology(招待講演)(国際学会)
3, (3.1.2
4.発表年
2020年
1.発表者名
川原繁人
2.発表標題
2.発表標題 プリキュア名と両唇音の音象徴 II: 実験的検証
プリキュア名と両唇音の音象徴 II:実験的検証
プリキュア名と両唇音の音象徴 II: 実験的検証 3.学会等名
プリキュア名と両唇音の音象徴 II:実験的検証
プリキュア名と両唇音の音象徴 II: 実験的検証 3.学会等名 日本音声学会
プリキュア名と両唇音の音象徴 II: 実験的検証 3.学会等名 日本音声学会 4.発表年
プリキュア名と両唇音の音象徴 II: 実験的検証 3.学会等名 日本音声学会
プリキュア名と両唇音の音象徴 II: 実験的検証 3. 学会等名 日本音声学会 4. 発表年 2020年
プリキュア名と両唇音の音象徴 II: 実験的検証 3. 学会等名 日本音声学会 4. 発表年 2020年
プリキュア名と両唇音の音象徴 II: 実験的検証 3. 学会等名 日本音声学会 4. 発表年 2020年
プリキュア名と両唇音の音象徴 II: 実験的検証 3. 学会等名 日本音声学会 4. 発表年 2020年
プリキュア名と両唇音の音象徴 II: 実験的検証 3 . 学会等名 日本音声学会 4 . 発表年 2020年 1 . 発表者名 川原繁人
プリキュア名と両唇音の音象徴 II: 実験的検証 3 . 学会等名 日本音声学会 4 . 発表年 2020年 1 . 発表者名 川原繁人
プリキュア名と両唇音の音象徴 II: 実験的検証 3 . 学会等名 日本音声学会 4 . 発表年 2020年 1 . 発表者名 川原繁人
プリキュア名と両唇音の音象徴 II: 実験的検証 3 . 学会等名 日本音声学会 4 . 発表年 2020年 1 . 発表者名 川原繁人
プリキュア名と両唇音の音象徴 II: 実験的検証 3 . 学会等名 日本音声学会 4 . 発表年 2020年 1 . 発表者名 川原繁人
プリキュア名と両唇音の音象徴 II: 実験的検証 3. 学会等名日本音声学会 4. 発表年2020年 1. 発表者名川原繁人 2. 発表標題音象徴と言語学ー教育と研究
プリキュア名と両唇音の音象徴 II: 実験的検証 3. 学会等名 日本音声学会 4. 発表年 2020年 1. 発表者名 川原繁人 2. 発表標題 音象徴と言語学ー教育と研究 3. 学会等名
プリキュア名と両唇音の音象徴 II: 実験的検証 3. 学会等名日本音声学会 4. 発表年2020年 1. 発表者名川原繁人 2. 発表標題音象徴と言語学ー教育と研究
プリキュア名と両唇音の音象徴 II: 実験的検証 3. 学会等名 日本音声学会 4. 発表年 2020年 1. 発表者名 川原繁人 2. 発表標題 音象徴と言語学ー教育と研究 3. 学会等名 日本認知言語学会 4. 発表年
プリキュア名と両唇音の音象徴 II: 実験的検証 3. 学会等名日本音声学会 4. 発表年2020年 1. 発表者名川原繁人 2. 発表標題音象徴と言語学ー教育と研究 3. 学会等名日本認知言語学会
プリキュア名と両唇音の音象徴 II: 実験的検証 3. 学会等名 日本音声学会 4. 発表年 2020年 1. 発表者名 川原繁人 2. 発表標題 音象徴と言語学ー教育と研究 3. 学会等名 日本認知言語学会 4. 発表年
プリキュア名と両唇音の音象徴 II: 実験的検証 3. 学会等名 日本音声学会 4. 発表年 2020年 1. 発表者名 川原繁人 2. 発表標題 音象徴と言語学ー教育と研究 3. 学会等名 日本認知言語学会 4. 発表年

1.発表者名 Kawahara, Shigeto & Canaan Breiss	
2. 発表標題 Exploring the nature of cumulativity through sound symbolism	
3 . 学会等名 Annual Meeting of Phonology(国際学会)	
4 . 発表年 2020年	
1 . 発表者名 Kawahara, Shigeto & Canaan Breiss	
2 . 発表標題 MaxEnt Harmonic Grammar and sound symbolism: Two case studies from English	
3.学会等名 Phonological Society of Japan	
4 . 発表年 2020年	
〔図書〕 計2件	
1.著者名 川原繁人	4 . 発行年 2018年
2.出版社 三省堂	5.総ページ数 ²⁴⁰
3 . 書名 ビジュアル音声学	
1.著者名 川原繁人	4 . 発行年 2017年
2. 出版社 ひつじ書房	5.総ページ数 210
3 . 書名「あ」は「い」より大きい!?:音象徴で学ぶ音声学入門	
	1

〔産業財産権〕

[その他]		
ポケモン音象徴研究のまとめ		
http://user.keio.ac.jp/~kawahara/research		
The 1st international conference on Pokem	onastics	
https://1stpokemonastics.wordpress.com		
The first conference on Pokemonastics		
https://1stpokemonastics.wordpress.com		
6 . 研究組織		
氏名	66层四穴幽閉,如足,肿	
(ローマ字氏名)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
(研究者番号)		
7.科研費を使用して開催した国際研究	集会	
〔国際研究集会〕 計1件		
国際研究集会		開催年
The 1st international conference	on Pokemonastics	2018年 ~ 2018年

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関			
ブラジル	Federal University of Rio Grande			
米国	University of Southern California	University of California, Berkeley	University of Chicago	
シンガポール	National University of Singapore			
韓国	Chonnam National University			
ドイツ	ZAS			
英国	University of Birmingham			
フランス	CNRS			